

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床作業療法学Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 月・金	教室名	403号室
担 当 教 員	竹内知仁、松本周三	実務経験と その関連資格	作業療法士として病院・施設・地域で勤務し身体・精神・老年期障害領域 で各疾患に対して作業療法を実践。			
《授業科目における学習内容》						
問題基盤型学習を(PBL)をベースとして、各疾患ごとに患者の有する問題の仮説とその仮説を証明するための検査項目の明確化、そして問題点を明確化し治療プランを立案するまでの課題をグループ学習を通して行い、臨床推論能力の向上及び学習方法の獲得を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
課題レポート95％(5点×1回、18点×5回)、準備・態度5％で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
■標準作業療法学 専門分野 作業療法臨床実習とケーススタディ 第3版 ■OT症例レポート赤ペン添削ビフォー＆アフター ■配布資料						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために教科書で予習、授業の復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
2年次の終盤には評価実習(6週間)、3年次は総合臨床実習Ⅰ、Ⅱ(各9週間)が行われます。						
授業の 方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	① 実習の内容と位置づけについての理解を深める。 ② 実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める。		教科書	事前学習(30分) 参考教科書の予習 事後学習(30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	実習の位置づけ、目的と目標について学ぶ。 実習の準備と心構えについて学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	② 実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める。 ③ 実習の展開についての理解を深める。		教科書	事前学習(30分) 参考教科書の予習 事後学習(30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	評価・総合臨床実習の実際(CCS)について学ぶ。 評価計画(情報収集)について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	③ 実習の展開についての理解を深める。 ④ デイリーノートの書き方を学ぶ。		教科書、配布資料	事前学習(30分) 参考教科書の予習 事後学習(30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	評価計画に関わる知識について学ぶ。 デイリーノート(SOAP)の書き方について学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書	事前学習(30分) 参考教科書の予習 事後学習(30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	ケースノートの書き方について学ぶ。 事例の書き方について学ぶ。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事前学習(30分) 参考資料の予習 事後学習(30分) 授業の復習
		各コマにおける授業予定	作業療法リーズニングの使い方について学ぶ。 各リーズニングの特徴について学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事前学習（30分） 参考資料の予習 事後学習（30分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	各リーズニングの特徴について学ぶ。 事例情報の整理の仕方について学ぶ。			
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書	事後学習（60分） OT初期評価レポートの作成（評価による全体像の理解と目標、介入プログラムの設定）
	各コマにおける授業予定	身体障害領域の事例を通して情報収集や評価の選択、目標立案等の作業療法過程について学ぶ。			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書	事後学習（60分） OT初期評価レポートの作成（評価による全体像の理解と目標、介入プログラムの設定）
	各コマにおける授業予定	精神障害領域の事例を通して情報収集や評価の選択、目標立案等の作業療法過程について学ぶ。			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書	事後学習（60分） OT初期評価レポートの作成（評価による全体像の理解と目標、介入プログラムの設定）
	各コマにおける授業予定	高齢期障害領域の事例を通して情報収集や評価の選択、目標立案等の作業療法過程について学ぶ。			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書	事後学習（60分） OT初期評価レポートの作成（評価による全体像の理解と目標、介入プログラムの設定）
	各コマにおける授業予定	発達障害領域の事例を通して情報収集や評価の選択、目標立案等の作業療法過程について学ぶ。			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事後学習（60分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事後学習（60分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。			
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事後学習（60分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。			
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事後学習（60分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ			
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。		教科書、配布資料	事後学習（60分） 授業の復習
	各コマにおける授業予定	演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。			